

キリシタン語  
Kvasic bread といふ

(1) 初回 (1初めの4分の2位、外)

"Our dinner? Our food is very good. First course, bread and kvas; second course, kvas and bread —"

1st course, 2nd — トルコ 今12 "breadにkvas + 12 10カ"  
Kvas? 及び 蕎麦? (クワス) にて 蕎麦は 蕎麦色の粉(子)の  
類 / 飲料 + 1)

(2) 次から三つ目の話に cunning meal 一 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

(3) 又次の話に very simple meal, 我

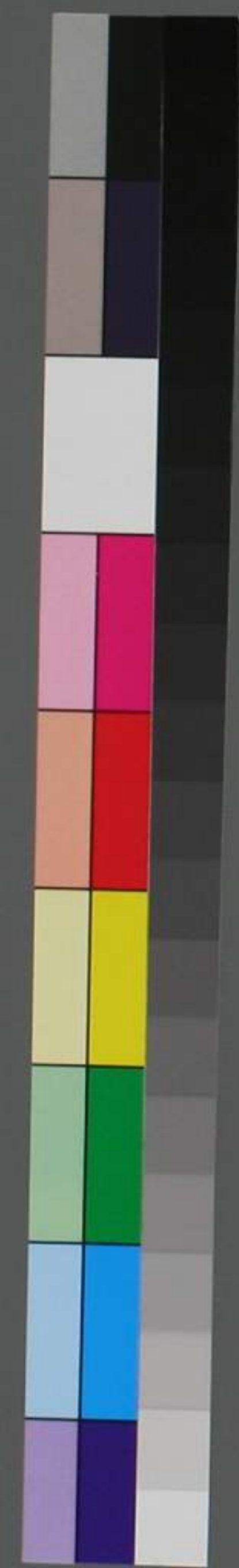
A woman brought me some fish  
グリン・フータ・キャベッジ soup トアリ  
何し + 12? グリン・フータ・キャベッジ

(4) 初回の中 =  
"What are you staring at? I'll give it to you.  
Just hand me my crutch," shouted the old woman . . . . .

此意味 杖ヲグリン・フータ・キャベッジトシテ  
我ハ之ヲ与ヘシ

(5) 夫の下 =  
"And I was thinking 'who's that?' and it's  
the master 之ハ 誰カ来リト思ヒテ、即チ、  
何カ、夫の下 = And I was thinking,  
'What devil is it coming in' and it's your  
honour 之ハ 何人カ来リカ、  
此ハ、おれハ、之ヲ、  
何カ、おれハ、之ヲ、  
何カ、おれハ、之ヲ、

(6) 此の一行下 "Eh, what food? Only just a pre-  
sence of food 之ハ" "此の言は、  
譯文デハ、  
トアリ 此言ハ、



コトハギ来又 一ツモノヨリ外ニ作ラベキモノ + ケレハ 其ヲ忍ビテモ作ラ  
 テ居ラネハナラヌ ト云フ程ノ意味ヲ (先カハ一色シカアリマセン)  
 ト云ヒタルニヤ 若木御室等ヲシテ 沢文ハトシテモ其後ノ通

(7) 前二回の中ころ

(Tra-hat-ron 直ぐの前)

paper that lay on the window sill which was  
 all cut about with a knife.

こゝ如何に有る?

Windowsill が knife / 紙ヲ切ラケニ成ワテ居ルノ意ナラン

(8) 前二回の中ころ = 善月ノ「ワラフ」 After passing the well 前二回  
 二行目

A pungent but not unpleasant smell of  
 dung

臭味ハ何ヲシテイハ 肥料ノ香カ not unpleasant

ト云フハ 糞トモナリ 糞如クニイハ 糞ト肥料ヲ用ユ

ルニシ

ドン+肥料ヲ用フルカ 糞ハ糞ラズ 併シ多ク  
 堆肥トイフ 木ノ葉, 牛馬ノ糞, 芋糞ノ類ニテハ 糞  
 物ヲノ不用物ニシテ成シタルモノヲ用フルナラント  
 想係ルハ

小生杯ハ 偶ニ田舎ニ行キテ肥料ノ匂ヲ嗅ク  
 ト, 何カカ知ラズモ田舎メキタル事アリテ 何トナク  
 懐シキヤウナ心地ハ 田舎ニ行キテ肥料中  
 ノ匂ガセネハ 何時カ迄モ田舎心ニナレヌエ  
 何トナク物事ナリナリ感じ申カハ 小生一何ノ  
 音聲ニ申 田舎ニ居ル時ハ ツクツク  
 感じタル所ニハ

若木御室 (2) 前二回の中ころ

14
2090
51 (20)

若木御室